



## 2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月1日

上場会社名 (株)神鋼環境ソリューション  
 コード番号 6299 URL <http://www.kobelco-eco.co.jp>  
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)粕谷 強  
 問合せ先責任者(役職名)総務部長 (氏名)芳野 真弘  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月7日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 078-232-8018

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	15,613	0.5	178		179		160	
2019年3月期第1四半期	15,693	34.8	193		132		139	

(注)包括利益 2020年3月期第1四半期 228百万円 ( %) 2019年3月期第1四半期 74百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	9.94	
2019年3月期第1四半期	8.68	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	68,451	26,583	38.6
2019年3月期	85,836	27,543	31.9

(参考)自己資本 2020年3月期第1四半期 26,456百万円 2019年3月期 27,390百万円

(注)2020年3月期第1四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2019年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		45.00	45.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		45.00	45.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	10.9	3,600	2.7	3,600	3.8	2,500	2.4	155.13

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

詳細については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。なお、対前期増減率は、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定の内容を反映させた数値と比較して記載しております。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	16,120,000 株	2019年3月期	16,120,000 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	4,148 株	2019年3月期	4,148 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	16,115,852 株	2019年3月期1Q	16,115,926 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は添付資料3ページをご覧ください。

また、今後、業績に重大な影響を及ぼす事象が確認された場合は速やかに開示いたします。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は四半期決算短信に添付しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	9
(企業結合等関係)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国と中国における通商問題や中国経済の先行きの不透明感等により、輸出や生産の一部に弱さが見られたものの、企業収益は高い水準で底堅く推移し、設備投資が緩やかに増加するとともに、雇用情勢が改善し、個人消費が持ち直しの動きを見せるなど、回復基調が続きました。

このような状況のもと、当社グループでは、本年1月に株式会社IHI環境エンジニアリングの廃棄物処理施設関連事業を統合しました。加えて2020年度を最終年度とする5ヵ年の中期経営計画の折り返しを迎えたこの機会に、当社グループがこれからも時代を超えて繁栄し続けるための共通の考え方・価値観として企業理念を制定しました。新たな企業理念のもと、現行中期経営計画において掲げた基本方針である「①主力事業のリノベーション」、「②海外展開・新規事業での着実なビジネスの拡大」、「③神戸製鋼グループとの連携強化」に沿って、諸施策を着実に実施しております。

当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、受注高は、廃棄物処理関連事業における複数の基幹改良案件の受注、並びに、本年1月の事業統合により増加した既納施設の運転・維持管理業務の受注があり、また、化学・食品機械関連事業における海外案件の受注増などにより、前年同期に比べ12,505百万円増(46.6%増)の39,352百万円となり、受注残高は前年同期に比べ24,540百万円増(33.0%増)の98,965百万円となりました。

売上高は、前年同期並みの15,613百万円となりました。利益面では、営業損益は前年同期に比べ14百万円改善し178百万円の損失、経常損益は前年同期に比べ47百万円悪化し179百万円の損失となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損益は前年同期に比べ20百万円悪化し160百万円の損失となりました。

なお、当社グループの事業形態による特徴として、第4四半期連結会計期間に完成する工事の割合が大きく、売上高の計上が偏る傾向にあります。概ね計画通りに推移しております。

報告セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

## (水処理関連事業)

水処理関連事業につきましては、売上高は前年同期並みの5,482百万円となりました。一方、経常損益は案件構成の変化等もあり前年同期に比べ181百万円悪化し、794百万円の損失となりました。

## (廃棄物処理関連事業)

廃棄物処理関連事業につきましては、売上高は前年同期に比べ150百万円増の7,798百万円となりました。また、経常利益は一部子会社における増益等もあり、前年同期に比べ116百万円増加し、107百万円となりました。

## (化学・食品機械関連事業)

化学・食品機械関連事業につきましては、売上高は前年同期に比べ204百万円減の2,327百万円となりました。また、経常利益は減収の影響等により、前年同期に比べ83百万円減の387百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は68,451百万円となり、前連結会計年度末に比べ17,384百万円減少しました。流動資産は45,392百万円となり、前連結会計年度末に比べ16,928百万円減少しました。主な要因は、受取手形及び売掛金の減少29,199百万円、短期貸付金の増加10,045百万円によるものです。固定資産は23,059百万円となり、前連結会計年度末に比べ456百万円減少しました。

負債合計は41,868百万円となり、前連結会計年度末に比べ16,424百万円減少しました。流動負債は31,672百万円となり、前連結会計年度末に比べ16,477百万円減少しました。主な要因は、買掛金の減少5,678百万円、短期借入金の減少7,448百万円、未払費用の減少1,218百万円によるものです。固定負債は10,195百万円となり、前連結会計年度末に比べ53百万円増加しました。

純資産合計は26,583百万円となり、前連結会計年度末に比べ960百万円減少しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失160百万円の計上による減少、配当金725百万円の支払いによる減少によるものです。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は、38.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想は、2019年5月8日に公表しました「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の業績予想から変更はありません。

なお、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,015	4,592
受取手形及び売掛金	47,322	18,123
電子記録債権	1,548	1,801
商品及び製品	52	50
仕掛品	1,993	4,117
原材料及び貯蔵品	895	926
短期貸付金	3,198	13,243
その他	2,387	2,603
貸倒引当金	△93	△67
流動資産合計	62,321	45,392
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,505	18,490
減価償却累計額	△11,314	△11,491
建物及び構築物(純額)	7,191	6,999
機械装置及び運搬具	13,194	13,200
減価償却累計額	△9,519	△9,618
機械装置及び運搬具(純額)	3,674	3,581
土地	3,590	3,563
建設仮勘定	35	63
その他	1,795	1,816
減価償却累計額	△1,346	△1,353
その他(純額)	448	463
有形固定資産合計	14,941	14,670
無形固定資産		
投資その他の資産	1,181	1,095
投資有価証券	934	596
繰延税金資産	4,156	4,374
退職給付に係る資産	1,266	1,271
その他	1,164	1,180
貸倒引当金	△130	△130
投資その他の資産合計	7,392	7,292
固定資産合計	23,515	23,059
資産合計	85,836	68,451

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	12,418	6,740
電子記録債務	11,140	11,495
短期借入金	7,971	523
未払法人税等	897	181
未払費用	3,183	1,965
前受金	3,990	4,609
製品保証引当金	2,804	2,640
工事損失引当金	1,151	1,221
その他	4,591	2,294
流動負債合計	48,149	31,672
固定負債		
長期借入金	2,915	2,852
リース債務	130	110
退職給付に係る負債	6,522	6,658
資産除去債務	499	500
その他	73	73
固定負債合計	10,142	10,195
負債合計	58,292	41,868
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,020	6,020
資本剰余金	3,332	3,332
利益剰余金	18,193	17,301
自己株式	△6	△6
株主資本合計	27,539	26,647
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	172	118
繰延ヘッジ損益	12	△4
為替換算調整勘定	48	34
退職給付に係る調整累計額	△382	△340
その他の包括利益累計額合計	△149	△191
非支配株主持分	153	126
純資産合計	27,543	26,583
負債純資産合計	85,836	68,451

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	15,693	15,613
売上原価	13,516	13,057
売上総利益	2,177	2,555
販売費及び一般管理費	2,370	2,734
営業損失(△)	△193	△178
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	18	14
投資有価証券売却益	—	1
貸倒引当金戻入額	14	25
分析料収入	2	1
固定資産売却益	21	—
その他	16	8
営業外収益合計	77	54
営業外費用		
支払利息	9	12
固定資産除却損	4	0
為替差損	—	40
その他	3	1
営業外費用合計	16	55
経常損失(△)	△132	△179
税金等調整前四半期純損失(△)	△132	△179
法人税、住民税及び事業税	78	209
法人税等調整額	△88	△203
法人税等合計	△10	6
四半期純損失(△)	△121	△186
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	18	△26
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△139	△160



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純損失(△)	△121	△186
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△53
繰延ヘッジ損益	7	△16
為替換算調整勘定	16	△14
退職給付に係る調整額	23	42
その他の包括利益合計	46	△41
四半期包括利益	△74	△228
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△93	△202
非支配株主に係る四半期包括利益	18	△26

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

## I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1, 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	水処理 関連事業	廃棄物処理 関連事業	化学・ 食品機械 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,488	7,647	2,532	15,668	24	15,693
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	—	—	3	△3	—
計	5,491	7,647	2,532	15,671	21	15,693
セグメント損益	△613	△9	470	△152	20	△132

(注)1. 外部顧客への売上高の調整額24百万円は、報告セグメントに帰属しない売上高であります。

2. セグメント損益の調整額20百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用及び営業外収益等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1, 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	水処理 関連事業	廃棄物処理 関連事業	化学・ 食品機械 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,480	7,798	2,327	15,605	7	15,613
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	—	—	2	△2	—
計	5,482	7,798	2,327	15,608	5	15,613
セグメント損益	△794	107	387	△300	121	△179

(注)1. 外部顧客への売上高の調整額7百万円は、報告セグメントに帰属しない売上高であります。

2. セグメント損益の調整額121百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用及び営業外収益等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

企業結合に係る暫定的な会計処理の確定

2019年1月1日付での株式会社IHI環境エンジニアリングの廃棄物処理施設関連事業等の承継に伴う企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、当第1四半期連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、顧客関連の無形資産に659百万円が配分され、繰延税金負債が201百万円増加した結果、取得日におけるのれんの金額は457百万円減少しております。

なお、この暫定的な会計処理の確定による損益に与える影響は軽微のため、記載を省略しております。

[決算発表 補足資料]

1. 連結経営成績

(単位：億円)

	2018年度 第1四半期累計①	2019年度 第1四半期累計②	前期比増減	
			②-①	増減率
売上高	156	156	△0	△0.5%
営業利益	△1.9	△1.7	+0.1	-
経常利益	△1.3	△1.7	△0.4	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△1.3	△1.6	△0.2	-

2. 連結受注状況

1) 受注高

(単位：億円)

	2018年度 第1四半期累計①	2019年度 第1四半期累計②	前期比増減	
			②-①	増減率
受注高	268	393	+125	+46.6%
受注残高	744	989	+245	+33.0%

※長期運転維持管理業務の受託高は含んでおりません。(但し、同業務の単年度売上額を受注高として計上)

2) 受注高+長期運転維持管理業務の受託高

(単位：億円)

	2018年度 第1四半期累計①	2019年度 第1四半期累計②	前期比増減	
			②-①	増減率
受注・受託高	217	355	+137	+63.0%
受注・受託残高	1,627	2,230	+602	+37.0%

3) 主要受託契約

2018年度	2019年度 第1四半期累計
東京都/八王子市 (仮称)新館清掃施設整備及び運営事業	岐阜県/中津川市 中津川市環境センターごみ処理施設長期包括 運営管理業務委託
兵庫西流域下水汚泥広域処理場 運転管理業務等包括委託	

### 3. 連結セグメント情報

#### 1) 売上高

(単位：億円)

	2018年度 第1四半期累計①	2019年度 第1四半期累計②	前期比増減	
			②-①	増減率
水処理関連事業	54	54	△0	△0.2%
廃棄物処理関連事業	76	77	+1	+2.0%
化学・食品機械関連事業	25	23	△2	△8.1%
調整額	0	0	△0	△71.4%
合計	156	156	△0	△0.5%

#### 2) 経常利益

(単位：億円)

	2018年度 第1四半期累計①	2019年度 第1四半期累計②	前期比増減	
			②-①	増減率
水処理関連事業	△6.1	△7.9	△1.8	-
廃棄物処理関連事業	△0.0	1.0	+1.1	-
化学・食品機械関連事業	4.7	3.8	△0.8	△17.7%
調整額	0.2	1.2	+1.0	+505.0%
合計	△1.3	△1.7	△0.4	-

### 4. 連結財政状態

(単位：億円)

	2018年度 ①	2019年度 第1四半期②	前期比増減	
			②-①	増減率
総資産	858	684	△173	△20.3%
負債	582	418	△164	△28.2%
純資産	275	265	△9	△3.5%
自己資本比率	31.9%	38.6%	+6.7pt	-
外部負債残高 ※1	108	33	△75	△69.0%
1株当たり 純資産 (単位：円銭)	1,699.61	1,641.62	△57.99	△3.4%

※1 外部負債残高は借入金から構成されており、リース債務を含めておりません。

### 5. 2020年3月期の連結業績予想

(単位：億円)

	2018年度 実績①	2019年度 予想②	前期比増減	
			②-①	増減率
売上高	901	1,000	+98	+10.9%
営業利益	37.0	36.0	△1.0	△2.7%
経常利益	37.4	36.0	△1.4	△3.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	24.4	25.0	+0.5	+2.4%

※2020年3月期の連結業績予想は、2019年5月8日に公表しました「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の業績予想から変更はありません。なお、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。